

# しらぬか

# 議会 だより

NO.170  
2025.10.24

- 2 令和6年度決算審査
- 6 一般質問6人
- 13 令和7年第3回臨時会概要
- 14 令和7年第3回定例会概要

子どもたちの笑顔輝くまちづくり

(第3回自兼学園文化祭)

水道課

介護福祉課

問 福祉灯油について オール電化アパートの入居者や器具使用者は助成対象にはならないのか。

危機對策誤

■ 防災拠点施設整備事業で策定された基本構想の内容は、

町民ナリダス栗

【質問】今の人口減少、グリーディング・バブルの運転手不足が問題となっているが、地域交通維持対策として、十勝管内のよう自動運転バスの実証実験などに取り組む考えはないか。

答 先進地である十勝管内への情報収集を行い、自動運転の導入に向けた取り組みについて、検討することとしている。

連絡やハガキでの通知も行っている。

問 白糠こども園への入園を希望した  
ら、定員なのか保育士不足なのか不明だが、庶路こども園への入園を斡旋されたという話を聞いた。庶路こども園の保育士に余剰があるなら、白糠こども園へ異動させたりできないのか。

答 0歳児の受け入れについて、保育士の定員は園によって決まっているため、人事異動は容易ではなく、両園の空き状況を調整し、定員内での受け入れとなる。通常の就労保育については、待機児童を出さないよう、柔軟な対応をしている。

問 がん検診の結果、がんが見つかった方へのフォローはどのようになっているか。

令和6年度の各会計の決算審査は、決算審査特別委員会を設置し、委員長に福地裕行委員、副委員長に川森 静委員を互選して、9月 17 日から 19 日の3日間の日程で行いました。

各課から新規事業などの説明を受け、質疑応答により慎重に審査しました。各課の主な質疑をお知らせします。  
(決算の内容は10月24日発行の町広報をご覧ください)

## 各会計決算額

会 計		歳入	歳出	差引
一 般 会 計		381 億 3,717 万円	377 億 4,882 万円	3 億 8,835 万円
特 別 会 計	国民健康保険	8 億 9,968 万円	8 億 9,070 万円	898 万円
	介護保険	11 億 5,076 万円	11 億 2,134 万円	2,942 万円
	後期高齢者医療	1 億 5,645 万円	1 億 5,642 万円	3 万円
	計	22 億 689 万円	21 億 6,846 万円	3,843 万円
合 计		403 億 4,406 万円	399 億 1,728 万円	4 億 2,678 万円

企画財政課

答 設計依頼する段階で、人件費の高騰や物価高を見込み予算に不足が生じないよう計上したことに入れ、入札の結果も、安価であった。

# 庶路支所の解体事業について、執 務

総務課

答 及び賃借料の不用額の内容は、  
令和6年度に予定されていたシステム標準化に関する作業の実施時期が、  
令和7年度に変更となつたため。

問 主要な施策のうち「町民税等の賦課」で執行率が52・3%である要因は、過去の実績を鑑みて予算計上しているが、予算に不足が生じないようにして

西庶路地域113戸、庶路地域61戸となつており、そのうち倒壊の危険性があるものは127戸となつてゐる。計画の概要是、空家などの発生を抑制する取り組み、空家などの除却後の跡地の利活用の促進、空家などの適切な管理、適切に管理されていな空家への対策となつてゐる。

答 がんが見つかった方については、がん検診センターと医療機関で受診状況をやり取りし、手術や治療につなげてもらい、白糠町としてもその状況を把握している。

問 婚活イベントについて、イベント参加者よりも実行委員会の方が人数が多いと聞く。

答 やり方について工夫が必要だと思うので、検討してほしい。

問 実行委員会については、町内の各青年団体代表や役場職員で構成されており、人数は多いが参加者よりは少ない。

答 取り組みに対する意見はいただいており、参加者にもアンケートを実施しているので、内容を検討・改善しながら進めて行きたい。

問 恋愛問3丁一号通り整備事業で、踏切が完成したが、空港への看板は草が茂り、避難ルートを示す案内板もないでの対応していただきたい。

答 大きめの看板設置を計画しており、現在制作中。避難ルートをわかりやすく掲示したいと考えている。

問 町道の草刈りについて、刈る時期が遅いと感じる。気候のせいもあるかながら進めて行きたい。

答 部活動の地域移行については、文科省も地域展開という形で協議検討を進めており、白糠町としてもスポーツだけでなく文科系部活動についても、併せて検討している。報告書に会全体で現況を把握し対応を望む。

答 頭部活動の地域移行については、文科省も地域展開という形で協議検討を進めており、白糠町としてもスポーツだけでなく文科系部活動についても、併せて検討している。報告書については改善したい。

問 庶路学園の面工事について、最近の雨の影響なのか、何度も崩れているが、地域住民が安心できるよう施工してもらいたい。

答 おり面工事が崩れているのではないか、表面が浸食されている状況であるが、安心してもらえるよう、年内をめどに施工を完了する。

問 青少年海外研修事業について、子どもたちの意見発表があつて、これは相当彼らの将来に向けて効果ある取り組みであったと考える。

答 自分たちの体験を前向きにアピール、伝える力は素晴らしいものなので、今後も継続されることを希望するが、

スポーツ競技に触れている一文があるものの、文科系部活動には触れられていない。スポーツ活動が目立つていいが、文化系で活動したい児童生徒、その保護者も多數いる。

答 情操教育のためにいろいろな支援の方を配置しているなかで、このような報告書では不十分である。教育委員会全体で現況を把握し対応を望む。

問 文化財の保護という観点から、博物館建設の考えはないか。

答 文化財や郷土資料は大切なものであるが、博物館の建設となるとハードルが高いことから、展示方法について、検討を進めている。

問 白糠高校で給食が無償提供されるようになり、生徒の健康状態が改善されたと学校医から聞いた。

答 現在、牛乳が提供されていないが、高校から要望があれば無償提供してもらえるか。

答 これまで要望がなかつたが、要望があれば、協議の上、取り進めたい。

## 学校給食センター

問 決算審査特別委員会講評(抜粋)

答 どのような計画を持っているか。

答 子どもたちは非常に刺激を受け、成長して帰ってきた。今後も継続して事業を実施したいと考えているが、場所の選定や研修内容は検討したい。

問 新規就農者等支援事業の執行率が27・4%であったことと、産業振興研修事業について、内容の説明を願う。

答 執行率について、限度額を基準として予算計上していたが、要望額を調査して予算計上する方法に変更したので、今後は執行率が上がる。

また、研修事業の内容は、大手企業が釧路市に進出することに伴い、

令和6年度予算は、「第8次白糠町総合戦略」と「第2期白糠町創生総合戦略」を基本に、各種施策を展開するため、編成がなされ執行された。令和6年度は、あらゆるモノの価格が高騰を続けた。厚生労働省の調査では9割以上の企業が賃上げを実施したものの、物価高には追いつかず、実質賃金は減少、住民生活にも大きな影響を及ぼしている。

そうした中、着実に実績を伸ばしている「ふるさと納税」により、自主財源の増加が年々続いている。理事者をはじめ、職員、関係事業者などの努力を高く評価するところであるが、集まつた浄財の使途についても、寄付者の意を汲み取り、住民ニーズや費用対効果も十分検討し、時宜にかなつた事業展開を望むものである。

各担当においては、本特別委員会の審査過程での質疑内容に意を用い、創意工夫を凝らした、町民との協働による事務事業の執行に鋭意取り組まれたい。

特に、屋外の津波時指定避難場所や避難路について、整備から年数が経過したことにより課題が生じている

箇所の早期整備、また、エゾシカやヒグマ対策は、頭数を削減するためのあらゆる手法の検討を求める。

併せて、住民福祉の向上に資する各種の助成制度について、十分に活用がされていない状況が見受けられるところから、PRなどの充実強化を図ることと移動販売の改装となっている。

問 白糠高等学校の教育活動への支援には助成されなくなるが、町費だけでも通年で助成するようにできないか。

答 ハンターの皆さまには、日頃より有害捕獲などご協力いただき、大変感謝申し上げる。エゾシカを含めた有民もいるが、その対応はどうなっているか。

答 来町者は、それぞれパークゴルフ場などで白糠町を満喫し、適宜交流は図られていると思う。

また、来町者の情報については、町當住宅の班長と共有している。

問 決算審査特別委員会講評(抜粋)

答 これまで同様に、計画的な路網整備に努める。

問 白糠町は林業が大事。森林整備は路網整備が欠かせないので、財源を繰り入れて、予算要求をしっかりと実施した。

問 エゾシカの駆除について、例年12月には助成されなくなるが、町費だけでも通年で助成するようにできないか。

答 なくとも釧路管内で統一できないか。

問 ハンターの皆さまには、日頃より有害駆除の期間についても、ヒグマ対策含め、管内自治体および獣友会と協議相談しながら進めさせていただきたい。

また、有害駆除の期間についても、ヒグマ対策含め、管内自治体および獣友会と協議相談しながら進めさせていただきたい。

問 漁業後継者等への支援対策の執行率が15・6%であることの要因は。

答 実施予定であった事業が行われなかつたため。

問 小規模事業者支援事業で補助金2件の事業内容は。

答 一件目は、電動ラウンジチェアヒュット美容器の購入。2件目は、発電機と移動販売の改装となっている。

問 本事業を利用した受験者は、延べ201人で、うち104人がさまざまな資格を取得した。

問 白糠高等学校の教育活動への支援のうち、資格取得の助成とあるが、取得した資格には、どのようなものがあるか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 地域教育コーディネーターについて、執行率が57・6%だが、地域活性化支援員は十分に配置されたのか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 白糠高等学校の教育活動への支援のうち、資格取得の助成とあるが、取得した資格には、どのようなものがあるか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 白糠高等学校の教育活動への支援のうち、資格取得の助成とあるが、取得した資格には、どのようなものがあるか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 白糠町は林業が大事。森林整備は路網整備が欠かせないので、財源を繰り入れて、予算要求をしっかりと実施した。

問 エゾシカの駆除について、例年12月には助成されなくなるが、町費だけでも通年で助成するようにできないか。

答 なくとも釧路管内で統一できないか。

問 ハンターの皆さまには、日頃より有害駆除の期間についても、ヒグマ対策含め、管内自治体および獣友会と協議相談しながら進めさせていただきたい。

また、有害駆除の期間についても、ヒグマ対策含め、管内自治体および獣友会と協議相談しながら進めさせていただきたい。

問 漁業後継者等への支援対策の執行率が15・6%であることの要因は。

答 実施予定であった事業が行われなかつたため。

問 小規模事業者支援事業で補助金2件の事業内容は。

答 一件目は、電動ラウンジチェアヒュット美容器の購入。2件目は、発電機と移動販売の改装となっている。

問 本事業を利用した受験者は、延べ201人で、うち104人がさまざまな資格を取得した。

問 白糠高等学校の教育活動への支援のうち、資格取得の助成とあるが、取得した資格には、どのようなものがあるか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 地域教育コーディネーターについて、執行率が57・6%だが、地域活性化支援員は十分に配置されたのか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 白糠高等学校の教育活動への支援のうち、資格取得の助成とあるが、取得した資格には、どのようなものがあるか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 白糠町は林業が大事。森林整備は路網整備が欠かせないので、財源を繰り入れて、予算要求をしっかりと実施した。

問 エゾシカの駆除について、例年12月には助成されなくなるが、町費だけでも通年で助成するようにできないか。

答 なくとも釧路管内で統一できないか。

問 ハンターの皆さまには、日頃より有害駆除の期間についても、ヒグマ対策含め、管内自治体および獣友会と協議相談しながら進めさせていただきたい。

また、有害駆除の期間についても、ヒグマ対策含め、管内自治体および獣友会と協議相談しながら進めさせていただきたい。

問 漁業後継者等への支援対策の執行率が15・6%であることの要因は。

答 実施予定であった事業が行われなかつたため。

問 小規模事業者支援事業で補助金2件の事業内容は。

答 一件目は、電動ラウンジチェアヒュット美容器の購入。2件目は、発電機と移動販売の改装となっている。

問 本事業を利用した受験者は、延べ201人で、うち104人がさまざまな資格を取得した。

問 白糠高等学校の教育活動への支援のうち、資格取得の助成とあるが、取得した資格には、どのようなものがあるか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 地域教育コーディネーターについて、執行率が57・6%だが、地域活性化支援員は十分に配置されたのか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 白糠高等学校の教育活動への支援のうち、資格取得の助成とあるが、取得した資格には、どのようなものがあるか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 白糠町は林業が大事。森林整備は路網整備が欠かせないので、財源を繰り入れて、予算要求をしっかりと実施した。

問 エゾシカの駆除について、例年12月には助成されなくなるが、町費だけでも通年で助成するようにできないか。

答 なくとも釧路管内で統一できないか。

問 ハンターの皆さまには、日頃より有害駆除の期間についても、ヒグマ対策含め、管内自治体および獣友会と協議相談しながら進めさせていただきたい。

また、有害駆除の期間についても、ヒグマ対策含め、管内自治体および獣友会と協議相談しながら進めさせていただきたい。

問 漁業後継者等への支援対策の執行率が15・6%であることの要因は。

答 実施予定であった事業が行われなかつたため。

問 小規模事業者支援事業で補助金2件の事業内容は。

答 一件目は、電動ラウンジチェアヒュット美容器の購入。2件目は、発電機と移動販売の改装となっている。

問 本事業を利用した受験者は、延べ201人で、うち104人がさまざまな資格を取得した。

問 白糠高等学校の教育活動への支援のうち、資格取得の助成とあるが、取得した資格には、どのようなものがあるか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 地域教育コーディネーターについて、執行率が57・6%だが、地域活性化支援員は十分に配置されたのか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 白糠高等学校の教育活動への支援のうち、資格取得の助成とあるが、取得した資格には、どのようなものがあるか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 白糠町は林業が大事。森林整備は路網整備が欠かせないので、財源を繰り入れて、予算要求をしっかりと実施した。

問 エゾシカの駆除について、例年12月には助成されなくなるが、町費だけでも通年で助成するようにできないか。

答 なくとも釧路管内で統一できないか。

問 ハンターの皆さまには、日頃より有害駆除の期間についても、ヒグマ対策含め、管内自治体および獣友会と協議相談しながら進めさせていただきたい。

また、有害駆除の期間についても、ヒグマ対策含め、管内自治体および獣友会と協議相談しながら進めさせていただきたい。

問 漁業後継者等への支援対策の執行率が15・6%であることの要因は。

答 実施予定であった事業が行われなかつたため。

問 小規模事業者支援事業で補助金2件の事業内容は。

答 一件目は、電動ラウンジチェアヒュット美容器の購入。2件目は、発電機と移動販売の改装となっている。

問 本事業を利用した受験者は、延べ201人で、うち104人がさまざまな資格を取得した。

問 白糠高等学校の教育活動への支援のうち、資格取得の助成とあるが、取得した資格には、どのようなものがあるか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 地域教育コーディネーターについて、執行率が57・6%だが、地域活性化支援員は十分に配置されたのか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 白糠高等学校の教育活動への支援のうち、資格取得の助成とあるが、取得した資格には、どのようなものがあるか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 白糠町は林業が大事。森林整備は路網整備が欠かせないので、財源を繰り入れて、予算要求をしっかりと実施した。

問 エゾシカの駆除について、例年12月には助成されなくなるが、町費だけでも通年で助成するようにできないか。

答 なくとも釧路管内で統一できないか。

問 ハンターの皆さまには、日頃より有害駆除の期間についても、ヒグマ対策含め、管内自治体および獣友会と協議相談しながら進めさせていただきたい。

また、有害駆除の期間についても、ヒグマ対策含め、管内自治体および獣友会と協議相談しながら進めさせていただきたい。

問 漁業後継者等への支援対策の執行率が15・6%であることの要因は。

答 実施予定であった事業が行われなかつたため。

問 小規模事業者支援事業で補助金2件の事業内容は。

答 一件目は、電動ラウンジチェアヒュット美容器の購入。2件目は、発電機と移動販売の改装となっている。

問 本事業を利用した受験者は、延べ201人で、うち104人がさまざまな資格を取得した。

問 白糠高等学校の教育活動への支援のうち、資格取得の助成とあるが、取得した資格には、どのようなものがあるか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 地域教育コーディネーターについて、執行率が57・6%だが、地域活性化支援員は十分に配置されたのか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 白糠高等学校の教育活動への支援のうち、資格取得の助成とあるが、取得した資格には、どのようなものがあるか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 白糠町は林業が大事。森林整備は路網整備が欠かせないので、財源を繰り入れて、予算要求をしっかりと実施した。

問 エゾシカの駆除について、例年12月には助成されなくなるが、町費だけでも通年で助成するようにできないか。

答 なくとも釧路管内で統一できないか。

問 ハンターの皆さまには、日頃より有害駆除の期間についても、ヒグマ対策含め、管内自治体および獣友会と協議相談しながら進めさせていただきたい。

また、有害駆除の期間についても、ヒグマ対策含め、管内自治体および獣友会と協議相談しながら進めさせていただきたい。

問 漁業後継者等への支援対策の執行率が15・6%であることの要因は。

答 実施予定であった事業が行われなかつたため。

問 小規模事業者支援事業で補助金2件の事業内容は。

答 一件目は、電動ラウンジチェアヒュット美容器の購入。2件目は、発電機と移動販売の改装となっている。

問 本事業を利用した受験者は、延べ201人で、うち104人がさまざまな資格を取得した。

問 白糠高等学校の教育活動への支援のうち、資格取得の助成とあるが、取得した資格には、どのようなものがあるか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 地域教育コーディネーターについて、執行率が57・6%だが、地域活性化支援員は十分に配置されたのか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 白糠高等学校の教育活動への支援のうち、資格取得の助成とあるが、取得した資格には、どのようなものがあるか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 白糠町は林業が大事。森林整備は路網整備が欠かせないので、財源を繰り入れて、予算要求をしっかりと実施した。

問 エゾシカの駆除について、例年12月には助成されなくなるが、町費だけでも通年で助成するようにできないか。

答 なくとも釧路管内で統一できないか。

問 ハンターの皆さまには、日頃より有害駆除の期間についても、ヒグマ対策含め、管内自治体および獣友会と協議相談しながら進めさせていただきたい。

また、有害駆除の期間についても、ヒグマ対策含め、管内自治体および獣友会と協議相談しながら進めさせていただきたい。

問 漁業後継者等への支援対策の執行率が15・6%であることの要因は。

答 実施予定であった事業が行われなかつたため。

問 小規模事業者支援事業で補助金2件の事業内容は。

答 一件目は、電動ラウンジチェアヒュット美容器の購入。2件目は、発電機と移動販売の改装となっている。

問 本事業を利用した受験者は、延べ201人で、うち104人がさまざまな資格を取得した。

問 白糠高等学校の教育活動への支援のうち、資格取得の助成とあるが、取得した資格には、どのようなものがあるか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 地域教育コーディネーターについて、執行率が57・6%だが、地域活性化支援員は十分に配置されたのか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 白糠高等学校の教育活動への支援のうち、資格取得の助成とあるが、取得した資格には、どのようなものがあるか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 白糠町は林業が大事。森林整備は路網整備が欠かせないので、財源を繰り入れて、予算要求をしっかりと実施した。

問 エゾシカの駆除について、例年12月には助成されなくなるが、町費だけでも通年で助成するようにできないか。

答 なくとも釧路管内で統一できないか。

問 ハンターの皆さまには、日頃より有害駆除の期間についても、ヒグマ対策含め、管内自治体および獣友会と協議相談しながら進めさせていただきたい。

また、有害駆除の期間についても、ヒグマ対策含め、管内自治体および獣友会と協議相談しながら進めさせていただきたい。

問 漁業後継者等への支援対策の執行率が15・6%であることの要因は。

答 実施予定であった事業が行われなかつたため。

問 小規模事業者支援事業で補助金2件の事業内容は。

答 一件目は、電動ラウンジチェアヒュット美容器の購入。2件目は、発電機と移動販売の改装となっている。

問 本事業を利用した受験者は、延べ201人で、うち104人がさまざまな資格を取得した。

問 白糠高等学校の教育活動への支援のうち、資格取得の助成とあるが、取得した資格には、どのようなものがあるか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 地域教育コーディネーターについて、執行率が57・6%だが、地域活性化支援員は十分に配置されたのか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 白糠高等学校の教育活動への支援のうち、資格取得の助成とあるが、取得した資格には、どのようなものがあるか。

答 予算計上時は週5日の勤務内容となつた。稼働日数は減ったが、問題なく業務は遂行されている。

問 白糠町は林業が大事。森林整備は路網整備が欠かせないので、財源を繰り入れて、予算要求をしっかりと実施した。

問 エゾシカの駆除について、例年12月には助成されなくなるが、町費だけでも通年で助成するようにできないか。

答 なくとも釧路管内で統一できないか。

問 ハンターの皆さまには、日頃より有害駆除の期間についても、ヒグマ対策含め、管内自治体および獣友会と協議相談しながら進めさせていただきたい。

また、有害駆除の期間についても、ヒグマ対策含め、管内自治体および獣友会と協議相談しながら進めさせていただきたい。

問 漁業後継者等への支援対策の執行率が15・6%であることの要因は。

答 実施予定であった事業が行われなかつたため。

問 小規模事業者支援事業で補助金2件の事業内容は。

答 一件目は、電動ラウンジチェアヒュット美容器の購入。2件目は、発電機と移動販売の改装となっている。

問 本事業を利用した受験者は、延べ201人で、

# 問い合わせ 提案する

## 一般質問

一般質問



森 武人 議員

問 猪友会会員宛に「緊急銃制度に係る同意書について」調査があつたが、当該事

問 町が災害用備蓄資材を保管するコンテナを設置して、避難場所に指定している「刺牛裏山」は、標高59・3m。

問 今回地域住民が避難した刺牛裏山の麓の地上高は、13m程度で、約150m西側にある広場は、地上高26m程度である。場所も整備されており十分安心できる高さである。

問 渡島管内森町では、町内の踏切3カ所の遮断機が下りたままになり住民らの避難の妨げになっていた。

答 これまでの鳥獣保護管理法では、住居が集合している地域などでは、銃器を使用した鳥獣の捕獲を禁じていた。本町では、改正鳥獣法をどう捉え、有事に対応するため、どのように準備しているのか伺う。

問 猪友会会員宛に「緊急銃制度に係る同意書について」調査があつたが、当該事

問 平たんで整備可能な適地を選定し移設の検討をする

答 過去の非常時にJRと協議しており、このような災害時には、近くの駅で列車を止めよう約束ができている。

問 改正鳥獣保護管理法に伴う自治体の対応について

答 緊急対応においては駆除できる体制を整えている

問 「鳥獣の保護及び管理並びに狩獵の適正化に関する法律」の一部を改正する法律

問 マニュアルや計画は、地元獣友会だけでなく、地域住民にも、共有する必要があると思うが方策を伺う。

問 渡島管内森町では、町内の踏切3カ所の遮断機が下りたままになり住民らの避難の妨げになっていた。

森 武人 議員 7分

1 改正鳥獣保護管理法に伴う自治体の対応について  
2 刺牛地区避難場所の移設について

石田 正義 議員 8分

1 町民の生活支援について  
2 ヒグマ対策について  
3 貸与型奨学金の返済について

川森 静 議員 9分

1 奨学金の返還支援と免除について  
2 不登校の子どもの対応について

今田 瞳子 議員 10分

1 がん検診について

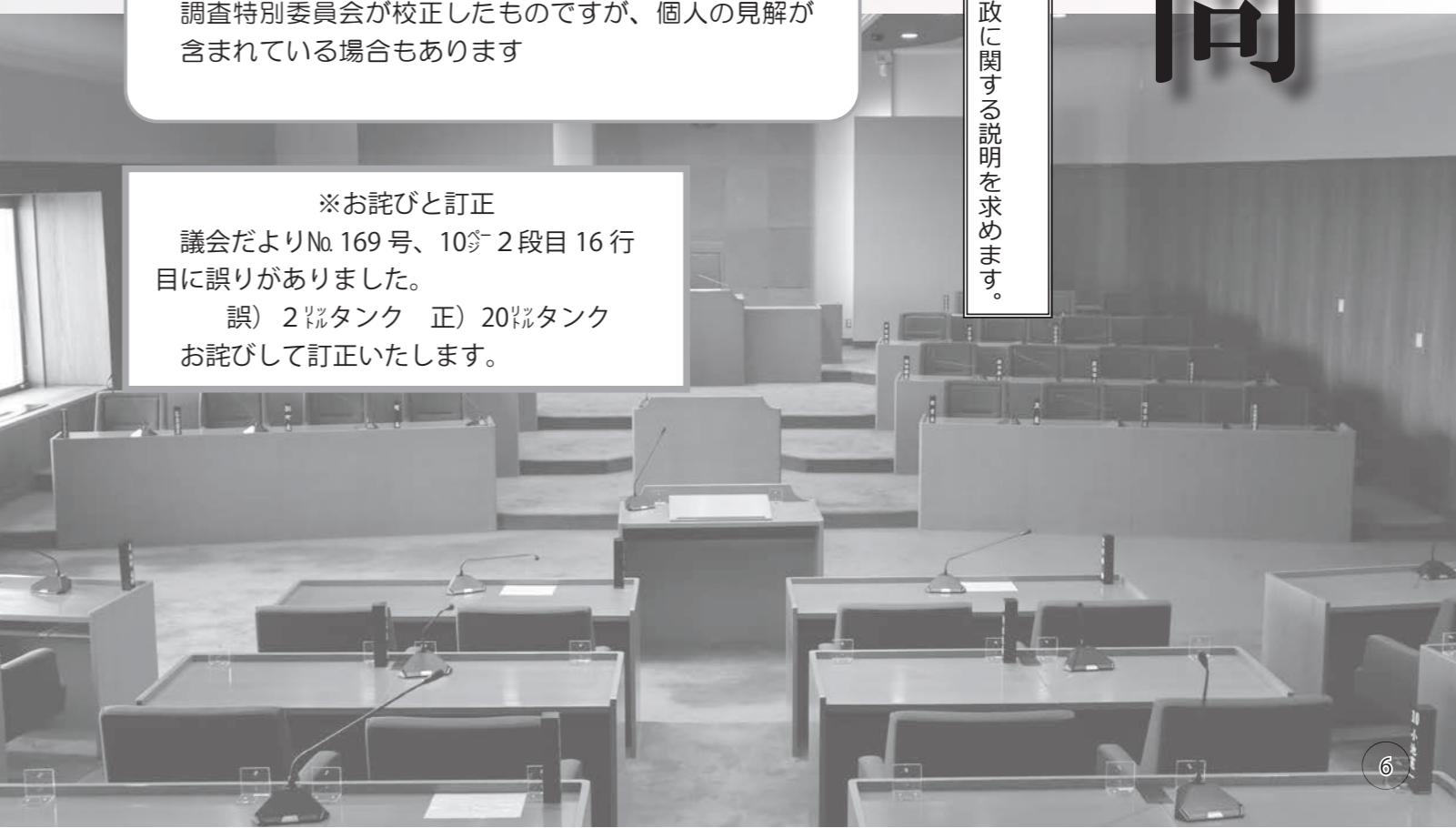
福地 裕行 議員 11分

1 道の駅について  
2 地熱発電所について  
3 宅地造成について  
4 食品スーパーの誘致について

中河 敏史 議員 12分

1 ヒグマ対策について  
2 二股地区の集会所などの改修について

議員6人が14件18項目について質問しました。  
※一般質問は1人90分以内で、町長教育長に対して広く町政に関する説明を求めます。



※お詫びと訂正  
議会だよりNo.169号、10分2段目16行  
目に誤りがありました。  
誤) 2リットルタンク 正) 20リットルタンク  
お詫びして訂正いたします。



川森 静議員

答 奨学金の返還支援や免除制度の先進事例については、釧路管内のほか、道内自治体で実施されている返還支援や免除制度の内容について調査を実施し、情報収集に努めた結果、本町においても来年度から一定条件を満たす方に対して返還免除制度の実施に向けて準備を進めている。

答 本町における令和4年度から6年度までの不登校率  
学校において、不登校の実態を把握した上で、現在の取り組みとその結果不登校の数の推移を伺う。

問 登校が難しい不登校児童生徒にとって、学校内での活動やサポートなどは、ハードルが高すぎると感じるが、本町において釧路市で来年度の新設を計画している「学びの多様化学校（くしろ創明学

今後は、既存の取り組みをさらに検証しつつ、ICT活用の拡充、校内教育支援センターの機能強化、地域人材との連携を進める中、不登校傾向の児童生徒の早期発見と効果的な支援につなげいくとともに、釧路市的新設校や清水町の教育支援センターの事例も注視しつつ、本町の実情に即した支援体制を継続していく。

答　問　　奨学金の返還支援と免除制度の検討は進んでいるか

来年度からの実施に向けて準備を進めている

答 本年度以前の奨学金の貸与を受けた方に対しても支援の検討を進めていく。  
また、奨学金の金額について

は 小学校では 1・3% から  
1・4% と横ばい、中学校で  
は 10・6% から 6・1% へと改  
善が見られ、町全体では減  
少傾向にあるといえる。

取り組みについては、全ての  
学校にスクールカウンセラー  
を配置し、教育委員会にも

【答】本町においては、放課後学習サポート事業を行い、放校以外の団体と教育委員会が連携で行う不登校支援活動を参考に、不登校のケアについて新たな施策は考えられるか伺う。

問 物価高はどどまることなく、もう限界を超えている。町民からは何とかしてほしいとの声がある。

国や道もいろいろな支援に取り組んできたが、足踏み状態であり、みんな悲鳴を上げている。また数カ月で厳しい寒い季節が来る。厳しい時期に間に合うよう支援を考えるべきではないか。

答 国や道の対応の方向が重要であり、その内容を注視し町としてどうあるべきかを判断していく。

厳しい現状はわが町だけではなく、国や道がこの現状をしつかり受け止め対策をされるよう、国や道への生活支援の要請も視野に入れ進めていく。

問 ヒグマ対策は喫緊の課題で、人里に出没した事例など被害は重大である。

答 行政、関係機関との連携など対策が必要ではないか。

問 今後も情報周知を徹底し、獣友会や警察などと連携協発、注意看板設置など、注意喚起している。

答 出没情報の周知や各種啓発、注意看板設置など、注力の下、対策を図っていく。

問 電気牧柵も穴を掘つて下から入るなどの事例もあり、専門員制度なり町がそのような人に委託するなど検討してはどうか。

答 クマが増えているのも現実これを防ぐのは我々にはできない。

できる事は、住民の命を守るために駆除すること。

抜本的対策は徹底した駆除をできるような体制を整えてほしい。自衛隊でも法律を改正してやってくれるのが一番いい。そういう提案をして国に届くよう全道上げて声を出してみんなでヒグマ対策をしていかなければならぬ。

答 大学卒業後町内にHターンするなど一定条件を満たす方に対し貸与分の返還を免除するという方向で検討を進めている。

問 一定条件とは何を指しているのか。町内に就職しても1～2年でよそへ行ってしまうは意味がない。5年以上などと設定しては。

答 来年度に向け検討中で、決定事項ではないが、Hターン後町内に居住すること、一定期間定住し、町内に就職していたらこと、年数の設定は、管内の状況を調べるところから免除するというところもあり、来年度に向けそれ

# 答 る 国 の 動 向 を 注 視 す

# 問 題 の 生 じ る つ い て

周知・啓発活動の  
強化、その他必要  
な対応を行う

専門性は重要と考え、酪農学園大学で研究されている先生や、北海道立総合研究機構の研究機関などと意見交換や情報交換をしながら知識を深め取り進めている。

問 捨学金を借り勉学に励んでいる学生が多くいるが、返済に大変苦労している若者も多いと聞く。白糠町内に就職すると返済を免除するなどの考えがあつても良いの



# 福地 裕行 議員

水産のまちを象徴する鮮魚販売やその水槽を設置し、より差別化を図るべきである。

答 漁協の商品は、委託販売方式のため鮮魚と水槽は難しい。まずは一年間の状況を把握し、協議・検討する。

問 莫大な事業費をかけた以上絶大な波及効果が必要。

移転の構想段階から累次、食での差別化も具申してきたが、この4ヶ月以上の繁盛は望めない。食の観光拠点としての発信力を高め、インバウンドを増やすことも求める。

# 問 の差別化を 恋問館、より一層 答 てから 一年間の状況を診

問 地熱発電所のその後は？  
答 引き続き検討の意  
向 町おこしエネルギー社が、  
国道38号から60キロ程の阿

2億5千2百万円。来館者  
数は年間目標75万人に対し  
47万人。  
問 地の利の良くない厚岸  
コンキリエでも30万人強で  
6億千5百万円である。  
今の品揃えや単価では到底  
目標額を超えることは不可能。  
食の観光拠点と明確に位置  
付けてのPRが大事。  
答 さまざまな情報発信にも  
努める。

問 町有地を無償譲渡してき  
たが、無償化＝税金化である  
今日莫大な税金を投入して  
民有地を取得、造成中だが、  
政策の貧困で的確な施策を

産業振興などを勘案し、低温で発電可能なバイナリー発電所について沼田社長とも相談しながら事業展開を図れないか。とも協議を続ける。

答 付金に迷惑された  
問 旧明治林業跡地を  
3千3百万円で購入するも  
法的課題が惹起し、開発を  
断念した。  
議決した議会にも当然大き  
な責任はあるが、造成実施

問 棚野町政になつて45%もの人口減だが、人口の争奪戦は論外。何より若年層の望む雇用の場確保が第一。

答 仕事はあるが魅力を感じる場は少ない。

新築住宅への補助拡充などの施策を思い切つて進めたい。

問 棚野町政になつて45%もの人口減だが、人口の争奪戦は論外。何より若年層の望む雇用の場確保が第一。

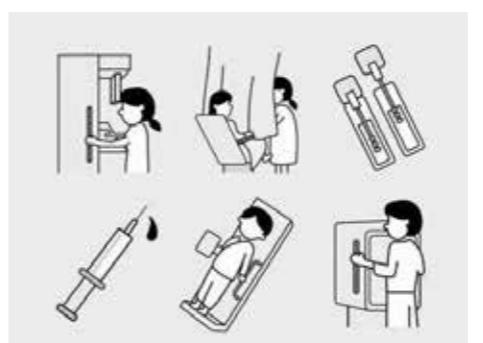
答 仕事はあるが魅力を感じる場は少ない。

新築住宅への補助拡充などの施策を思い切つて進めたい。

答 内年内には結論を出したいとのこと。応分の支援を考えなければならない。

問 個店での黒字化はあり得ないが、相応の補助も必要ではないか。

<p>答 負担は双方の協議による。</p> <p>問 食品スーパー誘致を</p> <p>答 年内には結論が出</p> <p>問 ひとえに町民の利便性などを考慮すると必要であり、巷間期待も高まっている。</p> <p>答 民間企業と継続協議中であるが、具体的な内容を立案し検討を進めているとのこ</p>	<p>答 負担は双方の協議による。</p> <p>問 食品スーパー誘致を</p> <p>答 年内には結論が出</p> <p>問 ひとえに町民の利便性などを考慮すると必要であり、巷間期待も高まっている。</p> <p>答 民間企業と継続協議中であるが、具体的な内容を立案し検討を進めているとのこ</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



A black and white portrait of a woman with short, dark hair styled in a bob. She is smiling and looking directly at the camera. The background is a plain, light color.

今田 瞳子 議

問 白糠町では「特定検診・がん検診の普及啓発キャンペーん」として受診率100%を目指しているが、現状の受診率と併せて、専門医のいない白糠町で安心して早期に発見できるよう尿採取でがんリスクを発見できる検査キットを使用できる対策を行えないか伺う。

問 かん検診について  
答 国の動向を見ながら尿検査の活用は判断したい

検診が10・3%、子宮がん検診が7・1%となっている。本町の受診率は、全道および管内の平均を下回る状況であることから、その要因の一つと考えられる健康意識の向上を図るために、町広報などによる周知や個別の受診勧奨を行い、受診率向上に努めている。また、本町の死亡原因については、がんの割合が全道と比べ特に高い状況にあることから、本年度より全身のがんを一度に調べることができるPET-CT検査に対する助成事業を実施している。

次に、現在市販されている尿採取などの検査キットについては、手軽にがんリスクの検査が可能であることは認識しているが、現段階では医療機器としての薬事承認を受けておらず、民間の健康サービスの位置付けであることから、今後の国の動向などを見極めながら、活用について判断したい。

問 PET-CT 検査費用は6万円程度で、その半分を助成し、自己負担は3万円。定員40人にはすでに達しており、そのうち受診済みは35人で、結果が判明している方は30人。そのうち8人が要精密検査となり、その中で、1人ががんと判明した。

問 PET-CT 検査や尿採取の検査キットなど、検査にかかる経済的な負担もあり、受診できない町民の方も中にはいるのではないか。

受診者の交通費などを助成する考えはないか伺う。

答 現在、検査の体制については、町内で受診できる日には、町が決まっている集団検診と仕事をされている方は個別で受診できるよう各機関、医療機関やがん検診センターなどで受診できる体制がある。また、女性の乳がん、子宮がん検診などについては、バス送迎付きの検診日もあり、さらなる移住・定住政策を推進する。

問 棚野町政になって45%もの人口減だが、人口の争奪戦は論外。何より若年層の望む雇用の場確保が第一。

答 仕事はあるが魅力を感じる場は少ない。

新築住宅への補助拡充などの施策を思い切って進めたい。

問 宅地造成を断念し  
たが

答 代金は返還される

問 旧明治林業跡地を3千3百万円で購入するも法的課題が惹起し、開発を断念した。

議決した議会にも当然大きな責任はあるが、造成実施

※PET-CT検査とは、PET（陽電子放出断層撮影）とCT（コンピュータ断層撮影）を組み合わせた高度な画像診断技術で、がんの診断や治療効果の評価、心臓病や脳疾患の診断など、より詳細で正確な画像を得ることができる、特にがんの早期発見や再発の検出に非常に有用。



中河 敏史 議員

## 財産の取得

### 土地

移住定住の促進を図るため、西庶路の民有地30,378 m<sup>2</sup>を定住宅地として取得した。

### 質疑・答弁

問 土地購入金額の算定根拠はどうなっているか。

答 西庶路地区近隣であった、本件類似の公共事業の売買実例を参考とした。

問 宅地整備に係る規模と期間は。

答 1区画100坪を目安に40区画整備し、令和8年度中の公募を予定している。

## 工事請負契約

### 締結

●新工業団地造成工事

- ・契約の方法 指名競争入札
- ・契約金額 13億2,679万4千円
- ・契約相手 山根・大前技建経常建設共同体
- ・工事場所 白糠町大楽毛34番地3
- ・工期 令和7年7月19日から令和9年2月12日まで

### 質疑・答弁

問 指名競争入札で行われた理由は。

答 令和6年9月定例会において一般競争入札について質問を受け、指名委員会にて協議したが、一般競争入札の場合は、基本的に金額の多寡のみで落札者が決まるため、施工能力に信頼のおける業者をあらかじめ選定できる、指名競争入札のほうが、良い仕事をしてもらえるので、指名委員会としては、過去の実績などを勘案し、業者選定の上、指名競争入札を行うこととした。

問 分離発注は検討しなかったのか。

答 今回の事業内容は、一体的に1社において施工することが有利であるため、分離発注は行わないこととした。

## 第3回 臨時会

7月17日

- ・専決処分の承認  
(条例改正・令和7年度補正予算)
- ・財産の取得(土地)
- ・令和7年度補正予算
- ・工事請負契約の締結

### 条例(専決)

#### 一部改正

●白糠町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例

先に告示をされた参議院選挙における、投票管理者などの報酬額を引き上げるため、関連する条例の一部を改正した。

## 7年度補正予算(専決)

### 一般会計補正予算

補正合計 22万2千円  
総額332億3,288万1千円

▲増額  
参議院議員選挙人件費 222,000円

## 7年度補正予算

一般会計補正予算  
補正合計 1億1,745万3千円  
総額333億5,033万4千円

▲増額  
定住宅地造成関連 85,420,000円  
物価高騰対応重点支援給付金関連 32,033,000円

答 本年は全国においてもクマによる人身事故が多発しており、過去最多であった令和5年度と同じか、それ以上のペースで推移している。その次いでおり、本町でも市街地へのクマ出没と人への被害を心配している。

市街地のクマの対応、農作物や人身被害を防ぐ有害捕獲については、猟友会白糠郡支部や警察などの関係機関と連携を図りながら、法律に基づいた緊急銃猟や有害捕獲の実施を進めていく。

答 銃器による有害捕獲には厳しい制限があり、見直しが必要である。箱ワナについての効率よく捕獲するため、ワナの近くに赤外線カメラなどを設置し、クマの行動を把握したり、捕獲数の多い自治体に研修に行ったりするなど

の対策が必要ではないか。

答 (町長の答弁) 北進集会所は、昭和55年に「北進べき地保育園」として建設し、平成7年の閉園後は、内部改修などを行い、「北進集会所」として使用している。平成25年には隣接する「北進寿の家」(昭和60年建設)を、北進集会所の分室として用途変更しており、現在、地域では利用人数の減少により当該分室を使用している。

答 (町長の答弁) 北進集会所は、建設から今年で45年が経過することから老朽化が進んでおり、雨漏りなどが生じた場合には、都度応急的な修繕で対応している。今後、教育委員会の考え方も踏まえ、総合的に二股地区の簡易郵便局などを含めた施設の在り方について、地域と協議しながら、

答 (教育長の答弁) 旧白糠町公民館二股分館に収納している展示物などについては、旧河原小中学校に一時保管の上、貴重な郷土資料保管倉庫」に用途変更した。

答 (教育長の答弁) 旧白糠町公民館二股分館に収納している展示物などについては、旧河原小中学校に一時保管の上、貴重な郷土資料の整理を進める考え方であり、今後に向けた資料展示の在り方についても検討を進めていく。施設の改修については町の部局と連携し、地域と協議の上、方向性を検討していく。

問 全国的にもクマの被害が起きる、対策が急がれるが。北海道では作物の被害だけではなく、痛ましい人への被害が起きており、白糠も例外ではなく同様な被害が起きる、対策が急がれるが。

答 現在、農林業被害対策で設置している。オリの場合、クマをおびき寄せる恐れがあるので、関係機関と協議をしたい。また、銃器については通年の許可を出している。

問 二股地区の集会所と旧白糠町公民館二股分館の老朽化が進んでいる。集会所は雨漏りがあり、旧分館に至ってはさらに損傷がひどく、中に響も考えられることがある。収納されている展示物への影響も考えられるところから、早期の改修が必要ではないか。

答 (教育長の答弁) 旧白糠町公民館二股分館は昭和48年に建設し、地域集会施設として使用してきた。平成7年の北進集会所設置に伴い、地域での会議や集会など利用がなくなったこと、年に加え、平成9年に地域の要望を受けて施設の主要部分を郷土資料の保管および展示を行う郷土資料室とした。その後、行財政改革により、平成15年4月1日付けで「公民館二股分館」から「郷土資料保管倉庫」に用途変更した。

## 人 事

### 教育委員会教育長の任命 につき同意を求ること

本年12月2日に任期を迎える教育委員会教育長について、平成31年4月から教育委員会教育長に就任され、教育に関して深い理解と熱い情熱を持ち、人格および識見ともに優れた川島真澄氏の再任に同意しました。

### 固定資産評価委員会委員 の選任につき 同意を求ること

本年9月30日に任期を迎える固定資産評価委員会委員について、平成28年度以来、同委員会委員に選任され、司法書士として土地、家屋の状況や、地方行政、さらには課税制度等に深い見識を持っておられる後藤毅俊氏の再任に同意しました。

## 協 議

### 規約の変更

●北海道市町村総合事務組合規約  
●北海道市町村職員退職手当組合規約  
●北海道町村議会公務災害補償等組合規約  
3組合を組織する構成団体である「江差町・上ノ国町学校給食組合」が、本年3月31日付けで解散したことから、脱退に伴う組合規約の変更の協議について、法の定めにより議会の議決を求められ、提案どおり議決しました。

## 工事請負契約

### 締結

#### 町道橋梁補修工事（恋問2号橋）

- 契約の方法 指名競争入札
- 契約金額 8,910万円
- 契約相手 山田水道機工株式会社
- 工事場所 白糠町庶路甲区6番地303
- 工期 令和7年9月20日から  
令和8年3月23日まで

### 一部変更

#### その他林道熊野沢線災害復旧工事

のり面緑化について、当初、張芝工により取り進めることとしていたが、工事の施工にあたり、土壤硬度試験およびPH試験を実施したところ、張芝工では、安定した法面緑化が見込めないことから、より耐浸食性効果が見込める植生マット工へ変更することに伴い、契約金額を変更するもの。

- 契約の方法 指名競争入札
- 契約金額 変更前 5,336万1千円  
変更後 5,881万7千円
- 契約相手 株式会社大前技建工業
- 工事場所 白糠町茶路170番地1
- 工期 令和7年3月31日から  
同年10月27日まで

## 意見書

### 国土強靭化に資する社会資本整備等に関する意見書

可決した意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係大臣、衆参両議院議長に提出しました。  
なお、意見書は、白糠町HPに掲載しています。

### 傍聴者へのお願い

- 携帯電話、スマートフォンは電源をお切りください。
- 開議中、飲食（健康管理を目的とした水分補給は除く）・喫煙はできません。
- カメラ・録音機器の持ち込みはできません。
- おしゃべりや議事の妨害、他人への迷惑をかけないようにしてください。
- 帽子やコートなどは着用しないでください。

## 条 例

### 一部改正

#### 白糠町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

公職選挙法施行令の一部改正に伴い、選挙運動の公費負担の限度額が引き上げられたことから、本町においても同様の改正を行う。

#### 白糠町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例

地方公共団体情報システムの標準化に伴い、一元的に住登外者の登録管理を行う、事務および情報連携について、いわゆるマイナンバーの独自利用を規定する必要があることから、所要の改正を行う。

### 質疑・答弁

問 「住登外者」という表記は適切か。

答 国から指定されている「住登外者宛名番号管理機能」に準拠した標記としている。

#### 白糠町職員の勤務時間、休暇等に関する条例

#### 白糠町職員の育児休業等に関する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律等の改正に伴い、職員が仕事と育児を両立できるよう、部分休業制度の拡充など、国家公務員と同様の措置を講じるため所要の改正を行う。

#### 白糠町定住宅地の無償譲渡に関する条例

本条例は、本町における人口減少対策の一環として移住・定住を促進するため、町有地を定住宅地として無償譲渡することについて定めたもので、今般の改正は、定住宅地として無償譲渡を定める土地に新たな団地を追加するもの。

### 質疑・答弁

問 それぞれの団地の区画数、譲渡数、建築数。また、町内町外それぞれの世帯数は。

答 下庶路団地は8区画で7区画譲渡済み。

茶路川沿団地は2区画で2区画譲渡済み。

西庶路栄団地は1区画で1区画譲渡済み。

西庶路旭団地は11区画で11区画譲渡済み。

戻辺川沿団地は9区画で9区画譲渡済み。

西庶路団地は4区画で1区画譲渡済み。

合計35区画で31区画が譲渡済みで、譲渡した区画にはすべて住宅などが建築済みである。

町内27世帯、町外19世帯、計46世帯。

## 第3定期会

- 9月16日
- 一般質問
  - 令和6年度の決算審査を特別委員会に付託
  - 令和7年度補正予算
- 9月17日
- 条例改正
  - 工事請負契約の締結
  - 工事請負契約の一部変更
  - 規約の変更に関する協議
  - 教育委員会教育長任命の同意
  - 固定資産評価審査委員選任の同意
- 9月19日
- 令和6年度決算審査特別委員会審査報告
  - 意見書の提出

## 7年度補正予算

### 一般会計補正予算

補正合計 7,507万4千円  
総額 334億2,540万8千円

#### ▲増額

林業振興施設帶鋸目立機械整備事業補助金	19,270,000円
商工業持続化等支援事業補助金	50,000,000円
白糠駒踊り保存会補助金	696,000円
バドミントン教室開催事業	700,000円
その他	4,408,000円

## 決算審査特別委員会

令和6年度一般会計、各特別会計および各公営企業会計の決算審査のため、議長と議会選出監査委員を除く全議員により「令和6年度白糠町各会計決算審査特別委員会」を設置しました。

決算審査内容は、2次から5次に掲載しています。

